

《Japan Tariff Association》

関税 メールプレス

(No. 451) 2017. 2. 17 発行元：日本関税協会 長崎支部

TEL:095-825-0557

Fax:095-825-1748

<http://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

第41回合同飼料分科会を開催しました

2月9日（木）、都城市の“都城ロイヤルホテル”において長崎税関監視部長、鹿児島税関支署長をはじめ税関幹部ご臨席のもと、長崎税関保税地域協議会との共催による「第41回合同飼料分科会」を開催しました。

当日は、飼料製造工場及び関連企業の会員29社45名のご参加のもと“みらい飼料(株)志布志工場”を幹事社として同社工場長 吉野正男氏の開催挨拶、長崎税関監視部長 羽田弘氏の来賓挨拶に引き続き、長崎税関監視部 新屋保税地域監督官から「内部監査（承認工場編）について」の説明が行われました。

講演会では、伊藤忠商事株式会社食料カンパニー 飼料・穀物・油糧部 飼料原料課 居樹 拓氏から「ドル円相場、とうもろこし相場の見通しについて」と題して、①ドル円相場について ②シカゴとうもろこし相場レビュー ③シカゴとうもろこし相場見通し等について分かり易く説明いただき、出席者は熱心に聴講されていました。

会議終了後の懇談会では、終始和やかな雰囲気の中懇談・意見交換が行われ、盛会裏のうちに幕を下ろしました。



〔みらい飼料(株)志布志工場 吉野工場長〕



〔長崎税関 羽田監視部長〕



〔伊藤忠商事株式会社 居樹氏〕



〔熱心に聴講される皆さん〕